

FD/SD シンポジウム

筒井 泉雄（大学教育研究開発センター長）

大学教育研究開発センターは、法学研究科と共同し、「求められる研究者の倫理とは何か～米国における研究倫理（Research Ethics）と研究審査委員会（Institutional Review Board）～」というタイトルで、平成25年11月27日（水）にFD/SD シンポジウムを開催しました。

研究者がしっかりと倫理規定を遵守した上で研究を行うことは、海外の多くの国々で求められています。他方、日本においては、喫緊の問題として、領域を問わず、研究遂行、研究発表の場において、研究者の行為が多少の差はあれ、倫理（Research Ethics）に即した手続きを欠いていると推定・実証される研究例が増加しています。

日本における研究倫理への取り組みは社会科学系の大学では理系に比して、きわめて遅れており、問題の共有もされていないのが現状です。本学にも倫理問題を研究テーマとする研究者が数多くいらっしゃいますが、大学全体として、研究者倫理を考えていくという取り組みはまだなされていません。

今回のシンポジウムは、この研究者と研究倫理について、深く掘り下げることが念頭に開催されました。現在の日本の研究倫理についての議論を予見する内容となっておりますが、これを契機として研究倫理についての知見が多少なりとも広がったと自負しています。

以下が、今回開催されたシンポジウムの概要とプログラムです。

◆タイトル

求められる研究者の倫理とは何か？～米国の大学における研究倫理（Research Ethics）と研究審査委員会（Institutional Review Board）～」

◆開催場所

第3研究館 研究会議室（一橋大学 国立・東キャンパス）

◆概要

近年、研究領域を問わず、研究を行う際に研究者倫理（Research Ethics）に即した手続きを踏み、明文の倫理規定を遵守した上で研究を行うことが、海外の多くの国々で求められつつあります。一方で、日本においては、研究倫理への取り組みは社会科学系の大学を中心に遅れており、問題も組織的に共有されているとは言えません。本学にも倫理問題と関連する研究テーマを持つ研究者が数多く存在しますが、研究倫理を意識している研究者の中では、倫理問題について日々不安を抱えながら研究に取り組んでいる方も少なくありません。

今回の全学FD/SDでは、こうした状況を受け、特に米国の大学における研究倫理（Research

Ethics)と研究審査委員会 (Institutional Review Board) の役割を中心に、研究者倫理の在り方と、学内で研究者倫理を組織的に保障していくシステムについて、専門家から具体的な話を伺います。

講演では、実際に米国の大学で研究者倫理に関する取り組みに長年関わってきた、エレヌ・エンゲルハード氏 (ユタ・ヴァレー大学教授)、マイケル・プリチャード氏 (ウェスタン・ミシガン大学教授) のお二人からお話を伺います。また同時に、日本における研究者倫理の在り方と、実際に起こっている研究不正の現状について、国内の専門家をお招きし、講演を行います。

国際的な研究者倫理に関する理解を深める機会として、皆様の今後の研究活動に役立てて頂きたいと思えます。教職員の皆様の多数のご出席をお待ちいたします。

◆プログラム

開会挨拶 一橋大副学長 (教育・学生担当) 落合 一泰

趣旨説明 法学研究科・職業倫理教育プロジェクト 教授 村岡 啓一

第1講演

札野 順 (金沢工業大学 科学技術応用倫理研究所 所長)

「責任ある研究活動 (Responsible Conduct of Research) を推進するために」

第2講演

松澤 孝明 (独立行政法人科学技術振興機構 研究倫理・監査室 参事役)

「わが国における文系・理系の各分野での研究不正の実態と特徴」

第3講演

エレヌ・エンゲルハード (ユタ・ヴァレー大学 哲学教授)

マイケル・プリチャード (ウェスタン・ミシガン大学 哲学教授)

「米国の大学における研究倫理と研究審査委員会について」

閉会挨拶 法学研究科・職業倫理教育プロジェクト 教授 村岡 啓一

◆講演者プロフィール

エレヌ・エンゲルハード氏 (ユタ・ヴァレー大学 哲学教授)

数多くの専門職 (ビジネス・法曹・医師・ジャーナリスト等) の職業倫理の研究・教育を分野横断的に行うとともに、長年にわたりユタ・ヴァレー大学の Ethics Across the Curriculum プログラムを主催してきた。また、ユタ州裁判官倫理委員会の委員長も務める。主な著書に『Ethics and Life』ほか。

マイケル・プリチャード氏（ウェスタン・ミシガン大学 哲学教授）

45年にわたり、技術者倫理を中心に職業倫理の研究および教育に関わる。また、2年あまりウェスタン・ミシガン大学の倫理センター長も務めている。この他、子どものための倫理教育プログラムについての研究および教育実践も行っている。著書に、『Professional Integrity』など。